

融合・連携で他社にない魅力を創出し 将来的なお客様のニーズに応えていく



取締役
技術マーケティング部 部長

三井 真吾

Shingo Mitsui

当社のエンベデッド、LSI、SIの3事業のそれぞれが高い専門性と強みを持ち、本来望むべき方向に向いている今こそ、“次に向けた仕込み”の好機と捉えています。

国が提唱する「Society 5.0」、「Connected Industries」や、世の中のCPS (Cyber-Physical System) 化の流れに沿う形で、当社でもお客様のこれからのニーズに応えるようなIoTの商品やサービスが少しずつ整い始め、取り組みが結実しつつあることを実感しています。

今後の成長が期待できるものに取り組んでいくことは、お客様の将来的なニーズに応えることでもあります。その1つにパートナーとの新たな共創の取り組みがあります。複数の企業との連携により研究開発を具現化し新たな商材を生み出すことや、大学などとの連携により当社が保有しない技術を創り出し掘り下げてもらった結果を、再び企業間連携に活かすなどの成果も生まれています。

長年、受託ビジネス中心であった当社には、多方面にアンテナを張り、社外の技術やサービスを活用したり組み合わせたりといった、これまで持ち合わせていなかったスキルが要求されています。また、それをお客様にアピールできるコミュニケーション力や提案力を持った人材を育成していくことも重要となるでしょう。

当社がエンジニアリング型企业であることは、今後も変わりません。3事業の特徴を活かしながら、それらを融合した領域で他社にない魅力を創り出そうとしています。世の中の流れは当社の方向性とも合致し、今後、当社が大いに活躍できる場が広がるものと期待しています。